

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山のいきものたち

ヒメシロコブゾウムシ (ゾウムシ科)



白っぽく、表面がでこぼこし、口が突き出たゾウムシの仲間。体長が11~14mmで、身体は黒色だが灰白色の細かい粉で覆われていて、背中中央だけ黒い。ゾウムシの仲間には木の実に孔を開けるためゾウのような長い口吻をもつ種がいるが、本種は葉を食べるので太く短くなっている。

春から夏に現れ、よくヤツデ、ウド、タラなどの葉の上において、それらの葉を食べる。卵は土壌に産み、幼虫は植物の根を食べて育つ。翅が退化し飛ぶことができず、動きは遅いが、頑丈な外骨格で身が守られていて、天敵が来たら落下して死んだふりをする。小さな昆虫だが、天敵から逃げる技をもち、植物の葉や根に寄り添い、しっかりと生き続けている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

驚き桃の木 高尾の記

NO.17



「ついに羽化しました！」

庭に置いたキジョランの鉢植えに棲みついたアサギマダラの成長報告も今回で最後です。

サンルームの中の温度が夜間もあまり下がらなくなってきた3月下旬、それまで鮮やかな黄緑色だった蛹が徐々に黒ずんで羽も見えるようになりました。羽化の瞬間を見たかったのですが、願いかなわず、朝起きて気が付くと羽化し終わったチョウが葉の裏にぶら下がっているということの繰り返し。蛹になった6頭のうち4頭が数日間にわたってみごとに羽化しました。羽化した4頭はいずれも葉裏で蛹になった個体で、サッシの枠にぶら下がって蛹化した2頭は残念ながら羽化することなく死んでしまいました。理由はわかりません。

羽化したアサギマダラは、最初はサンルームの中で時たまひらひらと飛んでいたのですが、数日するとあまり飛ばなくなりました。外に放せばおそらくすぐに鳥の餌食になると思い、部屋の中に入れて花蜜代わりに砂糖水をあげたところ、口吻を伸ばして

美味しそうに？吸っていました。

その後、4頭のチョウは外の世界を見ることなく1~2週間ほどで旅立ちましたが、幼虫を見つけてから約半年間、いろいろな驚きと感動を与えてくれました。感謝です！鉢植えをサンルームから庭に戻しました、今年もまた卵を産みにきてくれることを願いつつ。(枝)



森林教室

八王子市立 元八王子東小学校



6月13日(木)、八王子市立元八王子東小学校5年生43名を高尾山日影沢キャンプ場に迎えて森林教室を実施しました。

開校式の後、午前中は4班に分かれて森林観察です。当日は、梅雨前の蒸し暑い曇天でしたが、森の中に入りヒンヤリとした清々しい空気に触れてみんな元気いっぱい。スギとヒノキの違いや人工林と天然林の違い、針葉樹と広葉樹の生長の仕方の違いなどについて学んだり、水がポタポタと滴り落ちているところを観察しながら、なぜ森林は緑のダムと言われているのかの説明に聞き入っていました。

また、途中の小川では沢の水の冷たさに歓声を上げ、サワガニ探しに夢中になっていました。今回は残念ながらサワガニは見つけれられませんでした。「千と千尋の神隠し」に出てくるカマ爺のモデルとなったザトウムシを見つけ、その異様さにビックリしていました。

午後は最初に森林学習です。管理棟の中で森林の役割や森の動物、林業についてのお話し。その後の丸太切りは、キャンプ場の広場でスタッフの指導を受けながらヒノキの丸太を切ります。みんな真剣な眼差しで、最初はうまく切れない子もいましたが、段々と上手に切れるようになっていました。そして、輪切りの匂いを嗅いで「いい匂い!」を連発して満面の笑みを浮かべ満足そうでした。(瀬)



サワガニいるかな～

森林教室

東村山市立 北山小学校



6月18日(火)、東村山市立北山小学校の5年生55名が来所し森林教室を開催。本来は日影沢キャンプ場で実施するのですが、大雨の影響により急きょ予定を変更し、当センター室内を利用した開催となりました。

児童を2班に分け、A班がクラフト室で森林・林業についての学習、その間にB班が展示室で丸太切りを40分交替で実施しました。

学習では、森林の持つ機能(働き)や「伐って、使って、植えて、育てる」など林業に関することについて、職員手作りの教材で学んでもらいました。

丸太切りの前に、まず一人一人丸太を抱えてもらい、伐ったばかりの木の重さを体験。ホームセンターの木材売り場では実感できない貴重な体験です。その後丸太切りにチャレンジ。慎重に切る児童、元気よく切る児童等様々でしたが、時間内に一人2～3枚切ったところで終了。切った後の鋸くずも全員で拾い集め、きれいに片づけてもらいました。

残念ながら森林観察はできませんでしたが、児童たちにとって楽しい1日となったようです。(高)



森林の働きについて学習中



慎重に切っています

編集後記

大雨や大風の後にはたまに実が落ちているのを見かけます。普段は気にせず歩いている場所でも、実が落ちていることでムクロジが近くに生えているのだと気づきます。



ムクロジの若い実

Forest通信 NO.425

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail:ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

